



ウクライナ救援募金のお願い

八王子市民放射能測定室ハカルワカル広場

ハカルワカル広場は、原発事故後の2012年から「子どもを守りたい」という思いから、市民が立ち上げた八王子にある市民放射能測定室です。あれから10年「核と原発のない世界」を目指して、ボランティアを中心に、放射能測定に主体をおいた活動をしています。

今回のウクライナ危機に際し、交流のあった「チェルノブイリ救援・中部」というNPOに協力し、人道支援のための募金活動を始めました。「チェルノブイリ救援・中部」は、チェルノブイリ事故以来31年間ウクライナと交流し、測定や支援を続けてきた団体です。平和な生活を突然奪い、核をちらつかせ原発を人質に取った侵攻は断じて許せるはずはありません。私たちが求めるものは核や武器の必要のない平和な世界です。「チェルノブイリ救援・中部」への協力は、募金がウクライナの人々の健康や生活を支える人道的な目的で使用されると考えています。(裏面の要請文をお読みください)

皆様のご協力をお願いいたします。

ご協力いただける方はハカルワカル広場に直接持ってきていただくか、下記に振り込んでください。
また、裏面の「チェルノブイリ救援・中部」の募金サイトに直接していただいてもかまいません。

募金方法

ゆうちょ銀行

00180-8-290904(八王子市民放射能測定室)

他行からの振り込み 018-0224460(八王子市民放射能測定室)

21世紀に
こんなこと
があつてい
いはずない

学校まで攻撃
するなんて

どうやって支
援したらいい
のかな？

支援したいけ
ど武器になる
のは嫌だなあ



八王子市民放射能測定室
ハカルワカル広場
お電話
問合せ ➤ **042-686-0820**
〒192-0053 東京都八王子市八幡町 5-11 八中ビル 2F
HP: <http://hachisoku.org> メール: hachisoku@gmail.com
【開室】火～金曜日:10時～15時、土曜日:10時～12時

コロナ感染症予防のため当分の間 開室は
火曜日～土曜日：10時～12時30分



2022年3月7日

ウクライナ救援募金のお願い

NPO 法人 チェルノブイリ救援・中部

ロシアによるウクライナ侵攻は今なお継続中です。私たちは 1986 年に旧ソ連時代のウクライナで起きたチェルノブイリ原発事故の被災地を過去 31 年間支援して来ました。ウクライナで最も放射能の被害が大きかったジトーミル州の被災者、事故処理作業者たちは今なお苦しんでいます。そんな中、この度のロシアによる戦争は現地の人々に再び厳しい状況をもたらしています。

戦争が始まった直後、ロシア軍はチェルノブイリ原発を制圧し現在も廃炉作業員たちを人質に原発を侵攻の拠点にしています。更に 3 月 5 日、私たちが永年交流してきたジトーミル市第 25 番学校が爆撃・破壊されました。この学校の子ども達は、福島原発事故後、南相馬市の幼稚園や保育園にクリスマスカードを贈ってくれています。その際の爆風で私たちの活動を支えてきた「チェルノブイリ・ホステージ基金」の事務所も破壊されてしまいました。現地の消防士たちは破壊されたビルの消火や救助活動に必死です。

こうした状況を踏まえ、私たちはウクライナの緊急支援を始めます。集まった支援金は現地カウンターパートと連絡を取り合いながら、消防士たちを中心とした支援ルートを確保し、緊急性・安全性を確認しながら必要な支援に使っていく予定です。事態を見ながらの支援となります。一人でも多くの人の命を支える支援となるよう進めていきます。皆さまのご協力をお願いするとともに、どうか、ウクライナの人々の無事と一日も早い平和の回復を祈ってください。

- 想定される支援：
現地に残されている人々の生活用品（医薬品、食品、衛生用品、毛布等）
救助活動に必要な物資、現地での生活資金の援助など
学校や病院の復興、消防士たちの活動に必要な機材など

- 連絡先（月・水・金 午前 10 時～午後 3 時）

NPO 法人 チェルノブイリ救援・中部

〒460-0012

名古屋市中区千代田 5 丁目 11-33 ST PLAZA TSURUMAI 本館 5B

電話：052-228-6813

メールアドレス：chachubu@muc.biglobe.ne.jp

ホームページ：<http://www.chernobyl-chubu-jp.org>

ウクライナ救援基金口座番号

三菱 UFJ 銀行 名古屋営業部（店番 150）

普通 6949211

特定非営利活動法人 チェルノブイリ救援中部

トクテイヒエイリカツドウホウジンチエルノブイリキュウエンチュウブ